



第5回 岡山地方会 活動報告

テーマ：「医師事務作業補助者の働き方」

開催日時：2019年8月31日（土）14：00～17：30（開場13：30）

会場：倉敷中央病院附属予防医療プラザ 5階 古久賀ホール

開会の挨拶

倉敷中央病院 副院長 松下 睦

倉敷中央病院 副院長 松下 睦先生より、開会のご挨拶をいただきました。現在、医師事務作業補助者の働き方にも関わっておられ、この研究会、地方会など活発な活動が全国に広がっていることに対する感謝のお言葉をいただき、更に患者さんに対する『説明・同意』について、医師が指示した内容であれば、医師以外の病院職員が行うことは問題がないと話されました。



講演

上尾中央医科グループ協議会 総局長 久保田 巧



一般社団法人 上尾中央医科グループ協議会 総局長 久保田 巧 様をお招きし、『医師事務作業補助者をマネジメントする～考え方とその仕組みとは～』をテーマで御講演いただきました。

事前に、参加者から悩みや課題を集めていたので、業務内容、人材育成、医師事務の活用方法、問題解決方法など多くの内容を盛り込んだ講演でした。参加者からは、「自分自身の課題が見つかった」「効率化のための考え方を活用し業務に取り組みたい」「スキルアップについて具体的に理解でき自分自身の目標設定ができた」など多くの意見をいただきました。

グループディスカッション



今回も1時間20分（40分×2回）の時間を確保しました。テーブルごとにテーマ「書類作成」「代行入力」「病棟業務」「NCD」「教育」「業務範囲」「マネジメント」を設け、自由席で行ないました。県内外から医師、管理者、実務者など多くの関係者が参加し、情報交換・交流が活発に行われました。また、久保田様も各テーブルを回り、参加者からの質問に対しご自身の経験からアドバイスをくださり、時間の限り率直な意見交換が行えました。

当研究会の事業内容の説明、全国大会、地方会、セミナーなどの開催の他、会報発行やアンケート調査など活動内容を紹介し、会員になるメリットなども話しました。12年前には職種すら無かったのが、加算や働き方改革の追い風もあり、全国的に増員と業務拡大が進んでいます。全国大会を通じて刺激を受けたり、地方会で他院の実務者とのつながりを持ち気軽に情報交換することが、職種の発展のために大切であると伝えました。また、11月9日～10日に福岡で開催される全国大会についてアナウンスしました。最後に、関係者ならびに本日の参加者へ感謝の気持ちを述べました。



岡山県支部顧問である岡山旭東病院 院長 土井 章弘先生より閉会の挨拶がありました。今回、講演、発表された関係者はもちろん参加者への感謝の気持ち、医師事務作業補助者に寄せられる期待や役割の大きさを話され、第5回岡山地方会を締めくくりました。

地方会を通して

2016年9月に岡山県支部を発足後、5回目の開催でした。関係者のみなさまのご協力をいただきながら準備を重ねてまいりました。今回は、会員49名、非会員38名、講師1名、世話人11名の計99名が参加され、県外からも多くの方がお越しくださいました。

今回、2年ぶりに懇親会を倉敷中央病院温室レストランにて開催しました。30名が参加し、ビュッフェ形式でおいしい食事をいただきながら、より交流を深めることができました。

報告者：公益財団法人操風会 岡山旭東病院 近藤 祐加